

校名の意味

本校は、「緑あふれる北のフロンティア都市」のシンボルである「帯広の森」に隣接し、自然あふれる快適な「西帯広ニュータウン」の造成に伴って開校した。

萌え出づる新緑の若芽（本校生）が、帯広・十勝の厳しい自然環境の中で雄々しく大樹に成長し、切磋琢磨して、21世紀を逞しく担っていくことを願って命名した。

校章の由来



外枠に帯広市の市章を、中央に緑中（緑園中学校）の2文字を図案化し、金色で表し、枠内の点は人の集まりと和を、いぶし銀で表したものである。金色は希望を、いぶし銀は北の大地をイメージする。

生徒が北の大地、十勝・帯広の厳しい自然環境の中で希望をもって、たくましく生き、成長していくことを願い、村上陽一教諭（美術担当）加藤登さん（保護者）が合作した。